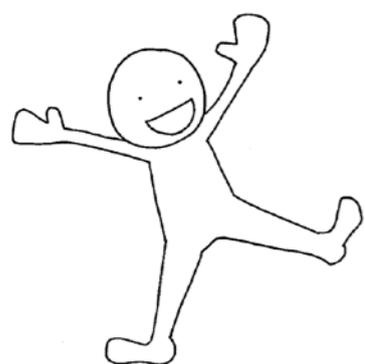


You, Unlimited



オンラインシンポジウム「公害資料館がはたす役割と未来」

「公害経験継承の課題」

報告を受けて

川中大輔（龍谷大学社会学部准教授・シチズンシップ共育企画代表）





# 公害経験継承をめぐる課題

「乾いていくこと」



コンテクストと結びついた整理と、  
歴史的意味の付与や定着のプロセス

「年とともに人生はクロノロジー（年代記）から  
パースペクティブ（遠近法）になり、最後は一枚のピクチャ（絵）になる。」  
(中井久夫, 2004, 『徴候・記憶・外傷』みすず書房.)



そして、過去／未来に向けての多様な解釈が開かれていく。  
新しい関係性が構築されていく可能性が開かれていく。

私たちは「生乾き」の状態に対して積極的意義をつくりだしていけるか。



# 公害経験継承をめぐる課題

「生乾き」

## 乾燥化

解釈を巡る葛藤の回避や  
簡明化／単純化の動き

：「光と闇」を並列化して政治性が希釈

葛藤プロセスの(追)体験，

資料の掘り出しや，新たな解釈

：「光と闇」を結合化して捉え両義性と対峙

：まなぶ「わたし」の葛藤も含まれる

## 保湿化

例えば、あおぞら財団の公害教育アクティビティ（ロールプレイ「あなたのまちで公害が起きたら」）や、減災教育等で用いられるクロスロードなどの工夫。

「記憶の時代」へ入っていく中で「生乾き」の状態をいかに保つか？



# テンプルからフォーラムへ

(Cameron 1971)



**テンプル**  
としてのミュージアム

評価の定まった「至宝」を  
人々が拝みにくる神殿のような場所



**フォーラム**  
としてのミュージアム

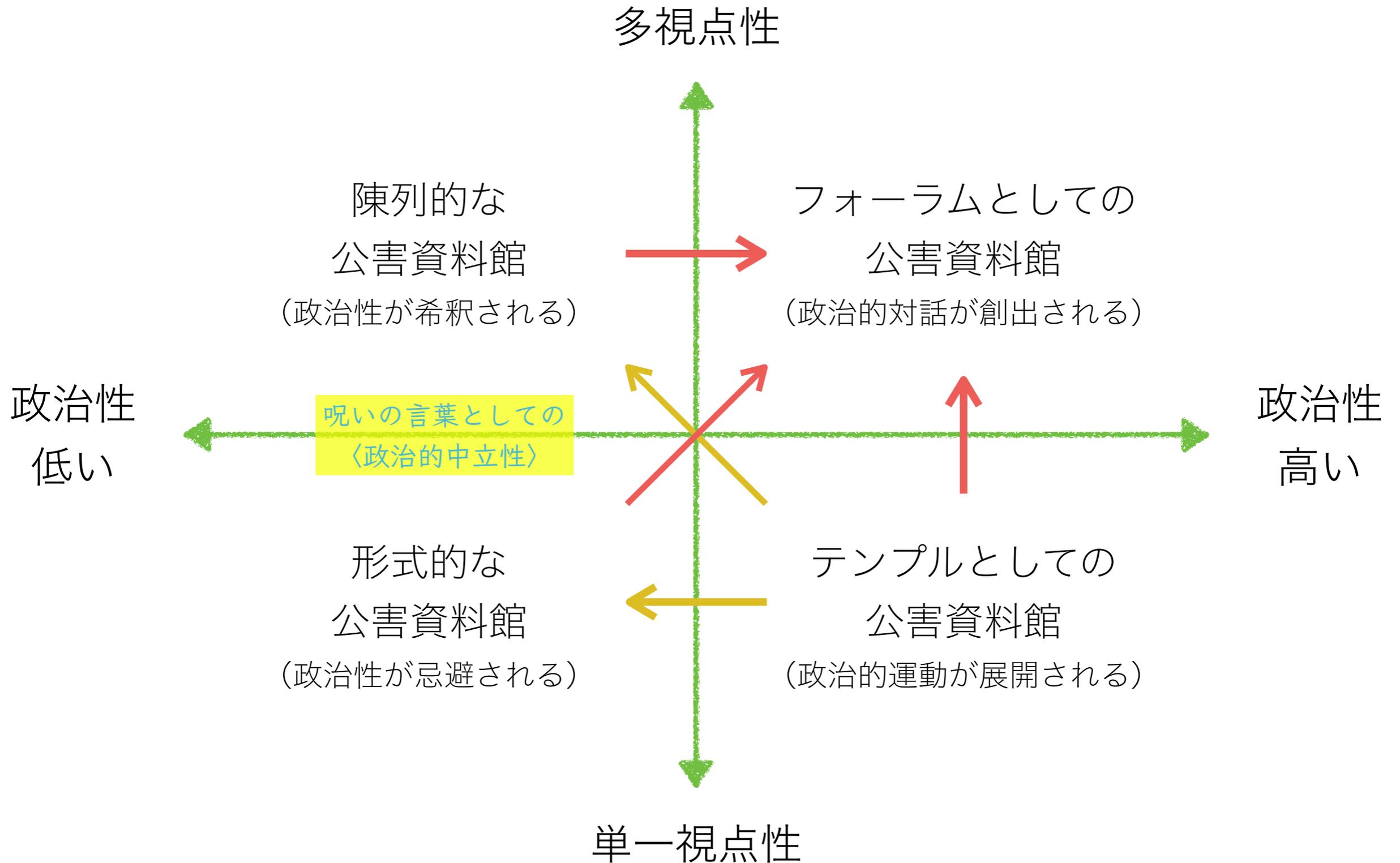
未知なるものに出会い、  
そこから対話／議論が始まる場所

鍵を握る

**Multiperspectivity**

(多視点性)

# 公害資料館の四象限





# 公害経験継承をめぐる課題

「ナチ独裁は過去のものであるが、われわれの歴史の一部であることに変わりはない。 […] われわれはこの歴史と取り組み続け、『それがなぜ可能になったのか』についてより正確な答えを導き出せる以外にはないのである。

[...] ナチ時代がおそろそいい過ちの歴史である。イデオロギー的眩惑、無知、卑怯から全国民が足を踏み誤らされたのである。そのような眩惑の原因を知り、その過去を克服することは常に新しい課題であり続けている。」

(川喜田敦子, 2019, 『ドイツの歴史教育』白水社, p.27.)

## 何が加害を生み出したのか？

加害者側の意思決定を導き出した価値判断に迫っていく資料

(「日付のある判断」 (鶴見 2004: 20) の重要性)



加害“責任”を果たすことをどう促すか？

(問題を繰り返さない社会をつくりだす責任)

“Sense of Shared Responsibility”の実現

「政治的な (集団の) 責任と、道徳的または法的な (個人の) 罪を明確に区別する」 (アーレント 2007: 199)

「生乾き」の状態を保つ上で加害者の資料をどう継承していくか。



# 公害経験継承をめぐる課題

タテ型の学び

## 博物館主導

(教育者主導)

資料と知識に対する  
視点と論点の提供

(複数の解釈の提示)

ヨコ型の学び

## 学習者主導

資料と知識に基づく  
視点と論点の創造

(対話の場からの相互作用)

: 社会(不)正義への

倫理的構えを伴いつつ

「多様な声と議論が可能な解釈の抗争の場」を  
学習者が主導するミュージアムとなっていくには？



リプライコメント

学習者主導の“フォーラム”に向けて



You, Unlimited

「形あるもののハンズオン」から「形にならない遺産の探究」へ  
(Peace Museumではなく)Museum for Peaceとしての民衆文化博物館



(筆者撮影)

2015.09.01, コスタリカ (エレディア州)

MUSEO DE CULTURA POPULAR





# 専門知に含まれる二つの区分

(コリンズ&エヴァンズ 2020, 平川 2020: 255-256)

## 貢献型 専門知

特定分野において、熟達した実践を重ねることで、その分野固有の「暗黙知」を獲得し、その分野に貢献できる専門知、専門家の能力。

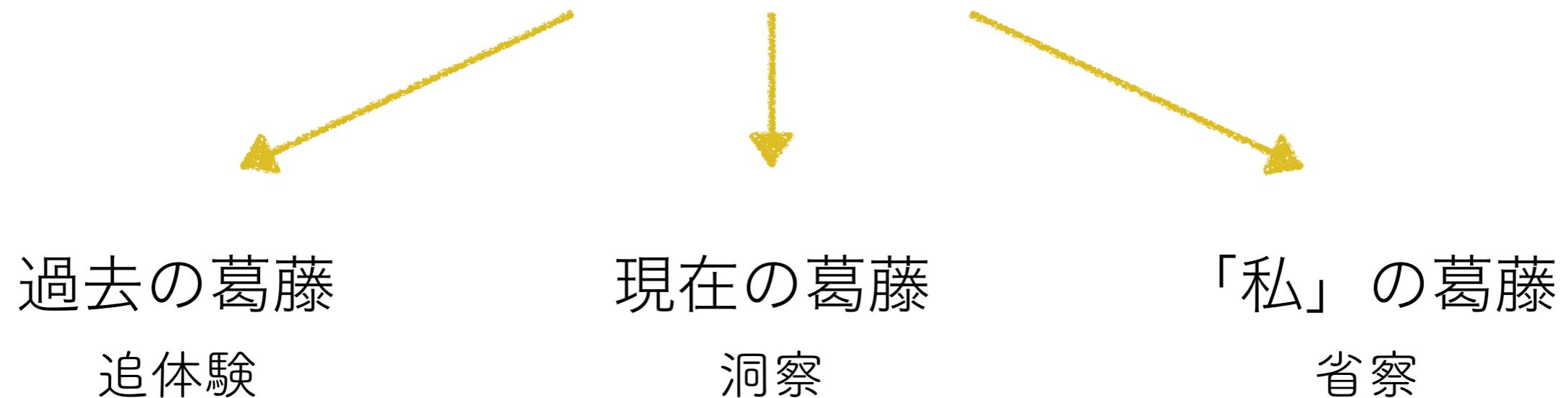
## 対話型 専門知

貢献型専門知の持ち主のような貢献を生む実践の能力は必ずしも高くないが、「暗黙知」も含めてその分野の専門用語をつかいこなす。貢献型専門知をもつ専門家とそれ以外の人々との架け橋となるような専門知、専門家の能力。



# 公害経験継承をめぐる課題

## 葛藤からの対話



どのような／どのように，追体験／洞察／省察を促していくか。

対話型専門知を磨いていくための場をどのように整えるか。